

MONO
INSTRUCTION
BOOK



MONO INSTRUCTION BOOK

スピーカー MONO
取扱説明書

INDEX	PAGE
1. はじめに	1
2. 各部の名称	2
3. 同梱品	3
4. アンプとの接続方法	3
5. 使用方法・メンテナンス	6
6. セッティング	8
7. 故障と思う場合の確認事項	11
8. 保証とアフターサービス	12
9. 主な仕様	13

1. はじめに

このたびは、スピーカー MONO をご購入いただき、誠にありがとうございます。

MONO は、音の体温を伝えるスピーカーをコンセプトに開発されました。小さな本体から現れる生き生きとした音をお楽しみください。

MONO はあなたが育てるスピーカーです。使う程に振動板の動きは軽やかになり、本体の天然木は再生する音楽に応じて変化していきます。それはまるで演奏者にとっての楽器のような存在です。

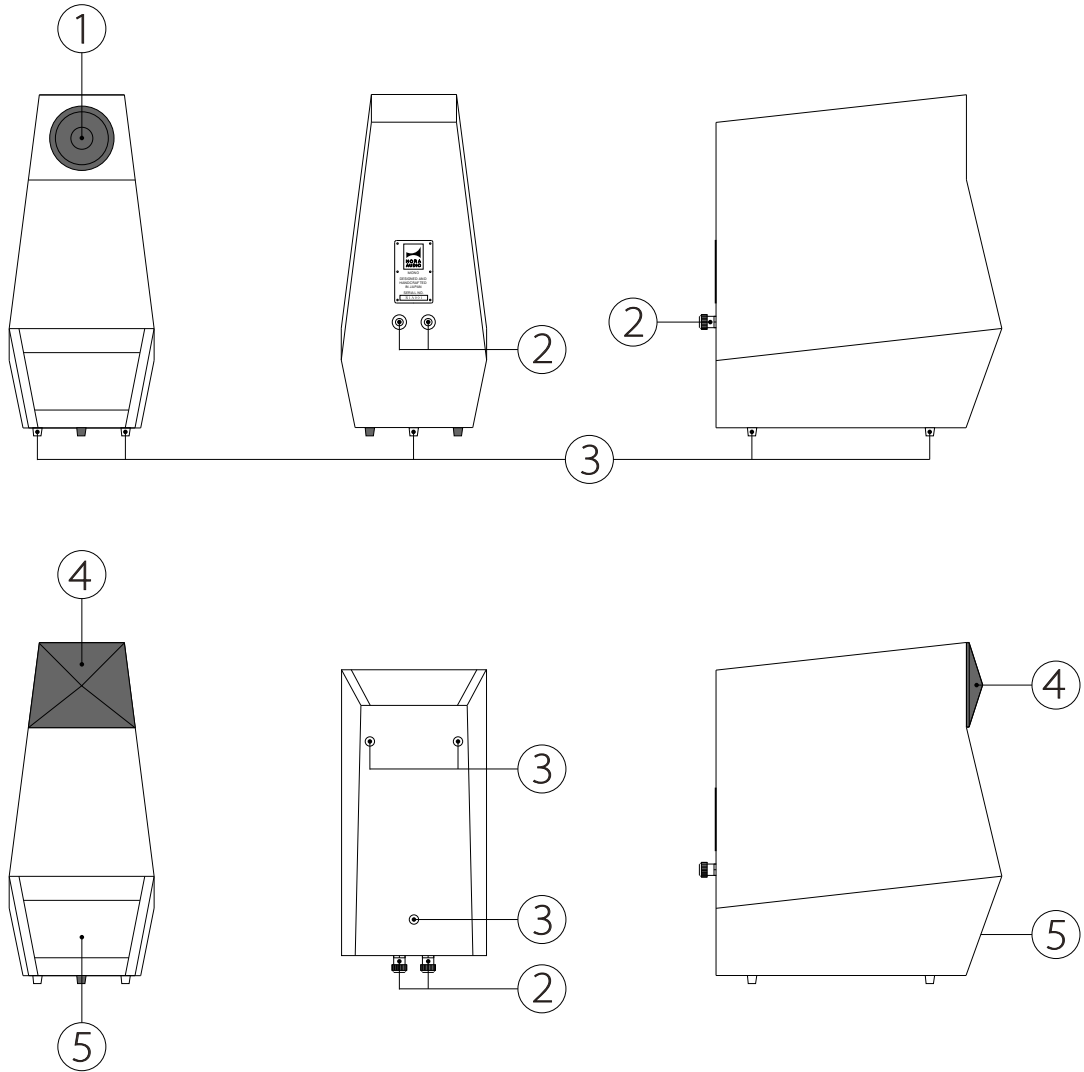
あなたの愛する音楽をいろいろと MONO に演奏させてみてください。きっと今までと違った新鮮な響きをご体験いただけたと思います。

これから、あなたと MONO との関係が始まります。

「音楽に感動する」という素晴らしい瞬間を作り出すことに、長きに渡って MONO が貢献することを願っております。

MONO をどうぞよろしくお願い致します。

2. 各部の名称



- ① スピーカーユニット
- ② スピーカーターミナル
- ③ 真鍮インシュレーター
- ④ グリルネット
- ⑤ ホーン開口部

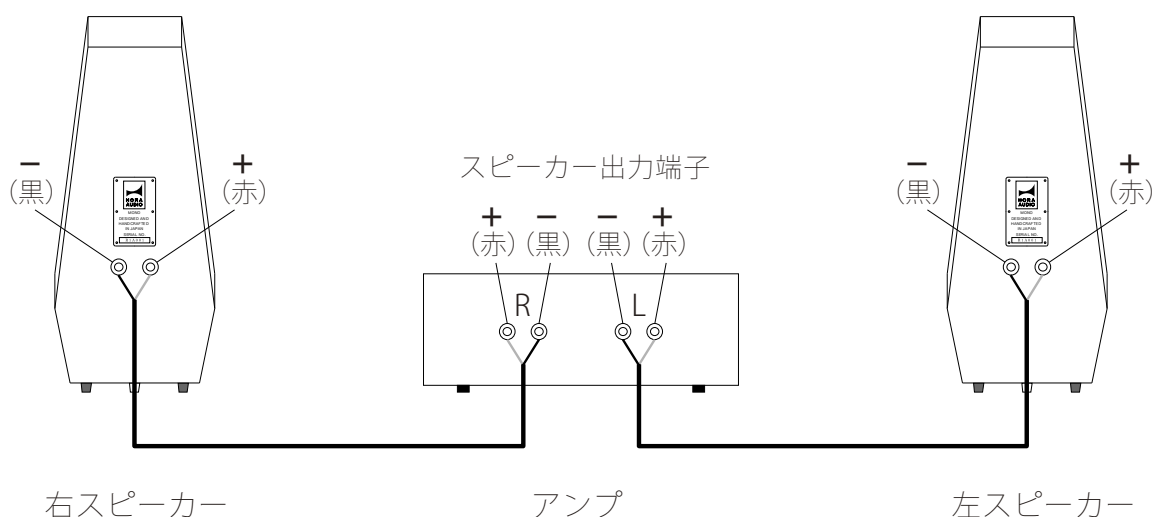
3. 同梱品

- スピーカー本体 ×2
- グリルネット ×2
- 真鍮インシュレーター ×6（本体に取付済）
- OWNER' S CERTIFICATE ×1
- MONO INSTRUCTION BOOK ×1（本冊子）

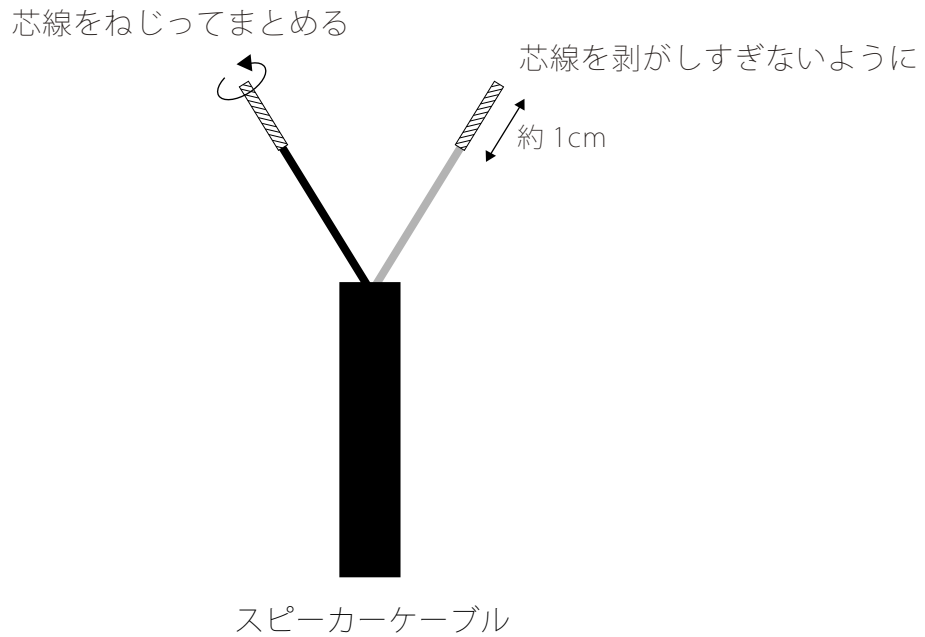
4. アンプとの接続方法

- 2台の本体のうち1台を右スピーカー、もう1台を左スピーカーとしてご使用下さい。2台は全く同じ性能ですので、どちらをご使用頂いても構いません。
- スピーカーケーブル2本をご用意下さい。
音質のことを考慮すると、左右2本のケーブルは同じ長さ、設置に必要な長さ以上にしない方が望ましいです。
業務用グレード以上の物の使用を推奨致します。（業務用ケーブルは比較的安価です。ご不明の場合は HORA AUDIO までお気軽にお問い合わせ下さい。）
- アンプをご用意下さい。
MONO のインピーダンスは一般的な $8\ \Omega$ です。一般的な接続方法は次頁からの情報を参考に、詳しい接続方法はご使用になるアンプの取扱説明書をご参照下さい。接続作業は必ずアンプの電源を切った状態で行って下さい。

- 2本のスピーカーケーブルを使用し、アンプのスピーカー出力端子のRを右スピーカーに、Lを左スピーカーに接続してください。アンプのL・Rには、それぞれ+（赤）と-（黒）の2つの端子があります。スピーカー背面にあるスピーカーターミナルの黒いマークの入った左側をアンプ-（黒）に、赤いマークの入った右側をアンプ+（赤）に確実に接続して下さい。



- スピーカーケーブルの+と-は、ケーブルの配色の違いやケーブルに入ったマークで区別して下さい。+と-を間違えて接続した場合、「逆相」という接続になり、不自然な音が発生しますのでご注意ください。

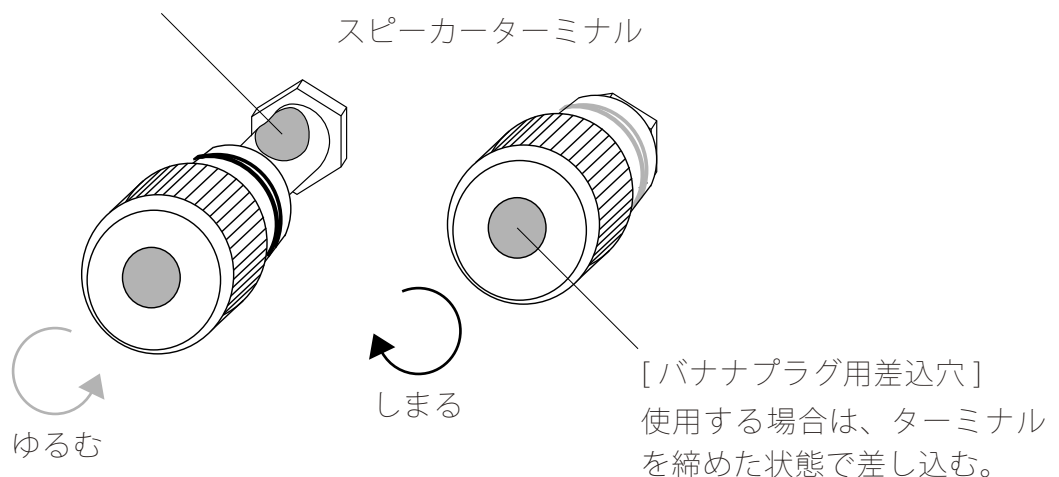


- ・スピーカーケーブルの被覆を剥がした芯線部分が確実にスピーカーターミナルにしっかり固定されていることをご確認ください。

スピーカーターミナルは、バナナプラグ対応です。太い芯線のケーブルを使用する場合や頻繁にケーブルの取り外しをする場合にご使用下さい。

[スピーカーケーブル用差込穴]

芯線を穴の下から上に入れた状態でターミナルをしっかりと締め込む。被覆部分ははさみ込まないこと。



5. 使用方法・メンテナンス

長期間スピーカーを良い状態で使用するには、正しい知識に基づいて丁寧に扱うことが大切です。

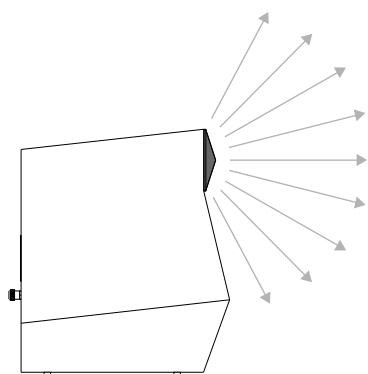
[使用方法と注意事項]

- ・音を最初に出す際は、アンプのボリュームがゼロになっているかご確認後、電源を入れ、音源を再生し、ボリュームを徐々にお好みの音量まで上げて下さい。過度にボリュームが上がった状態で音源を再生するとスピーカーユニットの故障の恐れがあります。
- ・アンプの電源を切る際は、ボリュームをゼロまで下げた状態で行って下さい。
- ・音が割れたり、ノイズが発生したら、ボリュームの上げ過ぎです。ただちに音量を下げ調整して下さい。
- ・大音量でのリスニングは聴力への悪い影響や近隣の苦情等につながります。適切な音量で音楽をお楽しみ下さい。
- ・スピーカーユニットは繊細な部品ですので、指で触ったりしないで下さい。
- ・再生音に悪い影響が起きますので、ホーン開口内に物を置いたり、開口を塞がないようにして下さい。
- ・繊細なチューニングがされておりますので、スピーカーユニットを取り外したり、部品を分解・改造しないようにして下さい。

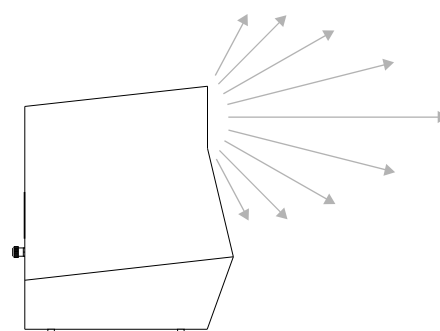
- ・ グリルネットの脱着はマグネット式です。

本体に衝撃を加えたり、ネットを付けた状態で移動・運搬すると、落下の恐れがありますので、ご注意ください。

グリルネットには音の拡散効果があり、外した状態では拡散性が弱まり、高い音が特に直線的に伝わります。



グリルネットが付いた状態



グリルネットが外れた状態

- ・ 真鍮インシュレーターの脱着はネジ式です。

脱着の際は、ゴム手袋をはめると傷つき防止および作業が容易になります。真鍮インシュレーターの使用で振動音が発生したり、設置面の保護をしたい場合は、制振材等を下に敷いて下さい。

[メンテナンス]

- ・ 本体についた埃や汚れは、乾いた布や刷毛で丁寧に取り除いて下さい。強い汚れがついた場合は、水に濡らした布を固く絞ってから拭いて下さい。木部へのオイル・ワックスの使用は製品の品質に影響がありますので避けて下さい。スピーカーユニット部は特に繊細ですので、乾いた刷毛やカメラ用エアダスターで埃を取る程度にして下さい。

6. セッティング

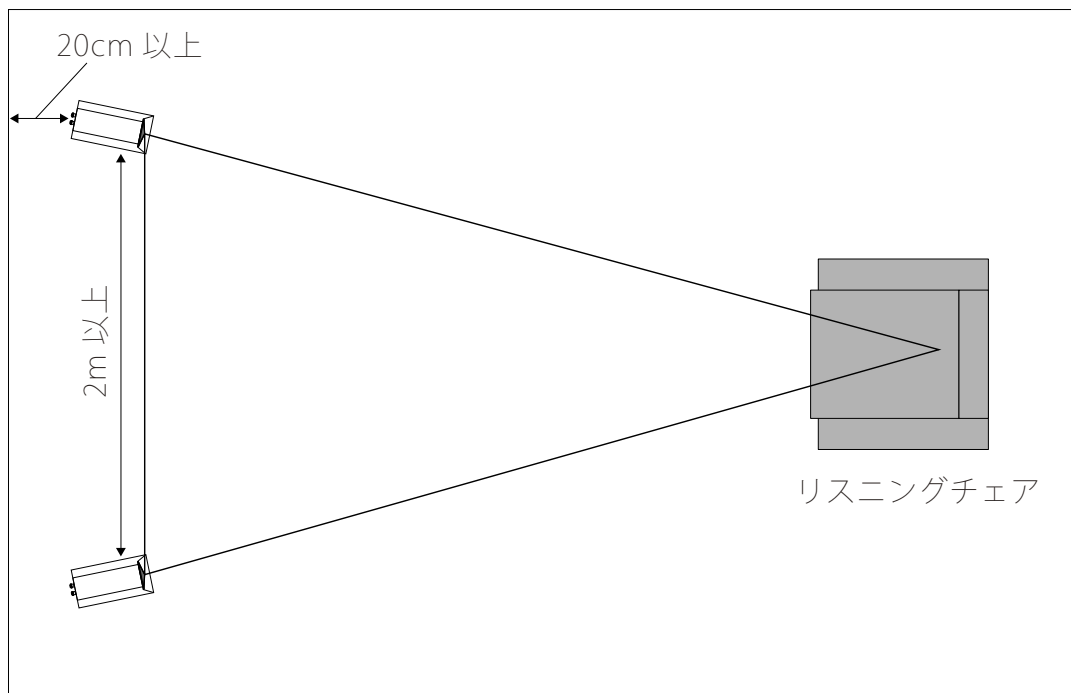
セッティングによって空間に再生されるスピーカーの音は変化します。以下の情報をご参考にあなたにとって最適なセッティングを探してみてください。

[セッティングに関する注意事項]

- ・ 直射日光、冷暖房機器・電化製品の熱等の影響を受ける場所、湿度の高い場所や埃の多い場所は避けて下さい。
- ・ 強い電磁波や電波を発生する機器の側に設置しないようにして下さい。
- ・ 家具の棚の中のような囲まれた狭い場所にスピーカーを設置すると音の広がりが妨げられます。
- ・ 安定性の悪い物の上にスピーカーを設置すると、スピーカーの転落や余分な音の発生の原因ともなります。外部振動を受けないしっかりとした水平な場所に設置して下さい。
- ・ カーペット等の柔らかい物の上にスピーカーを置くと不安定になり、音に悪い影響がありますので、避けて下さい。
- ・ スピーカーを床の上にスタンド無しでそのまま置くと低音が強調され、音が空間の下の方に集中し、バランスの悪い音になります。
- ・ 左右のスピーカーを近づけ過ぎると音が干渉し合います。適度に間隔をあけて置いて下さい。

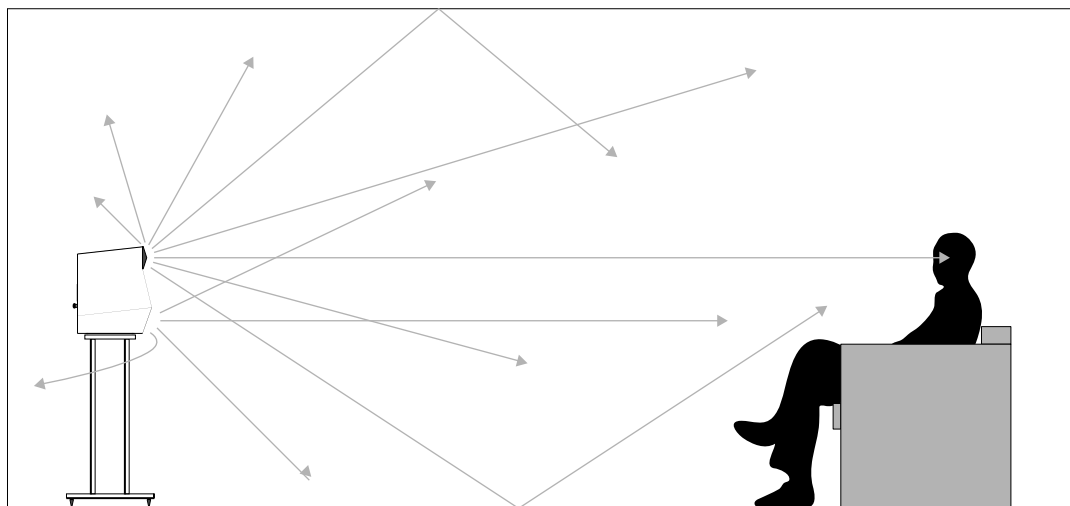
[セッティング例]

- ・リスニングチェアを設置する場合は、椅子に座った時の頭の位置と左右のスピーカーを結んだ二等辺三角形を意識して、スピーカーをやや内側に向けた状態にするとピントの合った音となります。グリルネットを外すとよりその効果が高まります。



- ・スピーカーから出た音は空間全体に四方八方隈無く飛び散ります。天井・壁・床などの物体に当たった音は反射します。素材によっては吸収されます。また、音の高さによって動きは異なります。高い音はまっすぐ進むのが得意ですし、低い音は方向性をあまり持ちません。
リスニングチェアを設置する際は座った時の耳の高さとスピーカーユニットの高さを合わせるのが理想的です。さらにグリルネットを外すと高音が耳に届きやすくなります。

- MONO 専用スタンド「MONO STAND」(別売)は、余分な振動を極力減らし、すっきりとしたクリアな音を再生するように設計されています。部屋に音を拡散させたい場合やリスニングチェアを設置する場合でも理想的なセッティングが可能となります。



- 生き生きとした MONO の音は、空間全体に広がるのが得意です。より音を拡散せたい場合は、グリルネットを付けると効果的です。設置場所を決める際、まず空間全体を見渡してみて、どこに置いたら音が一番動きやすいかを想像してみるとよいでしょう。2人のシンガーである2台の MONO にこの場で歌ってもらおうというイメージも役に立つかもしれません。
- セッティングに関してより深く知りたい場合は、様々な書籍が出ておりますので参考にしてみるのもよいでしょう。セッティングは、まずはいろいろ試してみるのが一番です。理論は差し置いて、あなたが心地良い状態がベストです。あなたの感覚を信じてみて下さい。

7. 故障と思う場合の確認事項

MONO は通常のスピーカーでは聞こえなかったような繊細な音を素直に再生します。アンプやプレーヤーなどの再生装置、音源が発する微小なノイズも音となって聞こえることがあります。これはスピーカーの故障ではありません。異常音を感じた場合は、何が原因かチェックしてください。ヘッドフォンやイヤホンを使用してアンプやプレーヤーの音を聞くと判断が容易になります。

症状	チェック項目
音が鳴らない	アンプの電源 / ボリューム / 入力切替 スピーカーケーブルの接続 音源・プレーヤーの再生 / 機器の接続
割れた音が聞こえる	ボリュームの上げ過ぎ 音源・プレーヤーの出力レベルが高い
ノイズが聞こえる	アンプ・プレーヤー・音源の確認 ケーブルの接続や断線 ボリューム・スイッチ等の接触不良 電源・照明器具・その他電気器具の影響

上記項目をチェックした結果、原因が特定出来ない場合は、HORA AUDIO までお問い合わせ下さい。

8. 保証とアフターサービス

- ・保証期間は、OWNER' S CERTIFICATE 記載の販売年月日より1年間です。

長い間安心してお使い頂けるよう、保証期間後も修理やメンテナンスに対応致しますので、お気軽にご相談下さい。

- ・お客様の過失による不適切な取り扱い・不注意により生じた故障・破損は、保証期間内でも有償でのサービス対応になります。くれぐれも取り扱いにご注意下さい。
- ・サービスを受ける際は、OWNER' S CERTIFICATE が必要になります。大切に保管して下さい。また製品の輸送のため、出来るだけダンボール・梱包材の保管をお勧め致します。
- ・サービスのご依頼・製品の使用に関するご質問等は、HORA AUDIO までお問い合わせ下さい。

[お問い合わせ先]

HORA AUDIO | ホラオーディオ

〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町 400

TEL/FAX: 0749-43-3090 MAIL: info@hora-audio.jp

9. 主な仕様

製品名：MONO（モノ）

型式：1ウェイ バックロード・ホーン スピーカー

使用ドライバー・ユニット：2インチ フルレンジユニット

周波数特性：50Hz～20kHz（±3dB）

インピーダンス：8Ω

定格入力：10W

最大入力：20W

出力音圧レベル（2.83V/1m）：82dB

入力端子：バナナプラグ対応スピーカーターミナル

寸法：W 151 × H 346 × D 297mm（本体木部のみ）

W 151 × H 354 × D 315mm（インシュレーター、
入力端子含む）

重量：4.2kg（1台）

構造材：高密度バーチプライウッド

標準仕上げ：オーク突き板/クリア塗装（ウレタン艶消し）

生産国：日本

製造・発売元：HORA AUDIO

Copyright ©2015 HORA AUDIO All Rights Reserved.



HORA AUDIO | ホラオーディオ
〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町 400
TEL. 0749-43-3090 info@hora-audio.jp
www.hora-audio.jp